

旭川赤十字病院医学雑誌編集および投稿規程

【編集】

1. 本誌は、医学・医療に関する論文で未発表のもの、ならびに年報（学会発表、その他研究会発表、講演および雑誌掲載論文・記事など）を掲載する。
2. 論文には、総説、臨床研究（原著論文）、症例報告を含む。
3. 本誌は年1回発行し、原稿の締め切りは毎年1月31日とする。
4. 本誌の編集は旭川赤十字病院医学雑誌編集委員が行う。
5. 論文掲載の採否は2名以上の審査員の審査結果に基づき編集委員会が決定する。
6. 本誌に掲載された原稿の著作権は、旭川赤十字病院に帰属する。また、本誌の内容は「日本赤十字社医学図書館“赤十字リポジトリ”」上に公開され、また著書抄録が「医中誌 Web」（医学中央雑誌）上にて公開されるものとする。
7. 掲載料は無料とし、希望する筆頭著者には別冊10部を贈呈する。
8. この規定は旭川赤十字病院医学雑誌ワーキンググループで変更されることがある。

【投稿資格】

筆頭著者は旭川赤十字病院勤務者に限る。ただし、編集委員から依頼した者はこの限りではない。

【倫理的配慮】

臨床研究の場合はヘルシンキ宣言（ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則、1964年6月世界医師会総会）を基礎とし、原則として当院倫理委員会による承認が必要である。原稿には倫理委員会の承認を得ていることを記載する。

【個人情報保護】

臨床研究を投稿する際は、研究対象者のプライバシーと個人情報の機密性を守るため、患者が特定されないよう十分に配慮する。

1. 患者個人の特徴が可能な医療情報は記載しない。
2. 論文の作成上、患者写真を提示することが不可欠な場合に限り、患者が特定できないように処理をした上で使用する。（例：顔面写真では目を隠す、あるいは該当部分を拡大写真とするなど）

【インフォームド・コンセント】

症例報告等、患者情報の記載のある論文の投稿に際しては、患者からインフォームド・コンセントを受けなければならない。取得した「同意書」のコピーを投稿時に提出する。未成年の患者、知的障害あるいは認知機能低下を持つ対象患者については、代諾者等からインフォームド・コンセントを受けなければならない。書面で同意が取得できない場合は、同意を得たことを公式に記録に残す。

(例：本症例の提示については、患者からインフォームド・コンセントを文書にて取得した、インフォームド・コンセントを口頭で取得し、その旨を診療録に記載した。など)

【利益相反】

投稿にあたってすべての著者は投稿時点の過去1年間における利益相反(COI)について、所定の様式にて申告する。利益相反の有無については論文の末尾、謝辞または文献の前に記載する。COI状態がない場合は、「申告すべきCOI状態はない」と記載する。

【投稿規定】

1. 原稿は和文または英文とする。
2. 論文の種類の変義は以下とする。

総説	特定の医学・医療分野の主題について、関連文献、資料に基づいて総括的に記したもの
臨床研究 (原著論文)	臨床医学における特定の主題について、研究目的、研究方法を明示して実施し、結果を考察したもの
症例報告	特定の疾患、病態に関して示唆を含む臨床例の報告

3. 原稿の長さは以下とする。

	原稿文字数	和文要約	英文要約	Key words	文献数
総説	8,000字以内	800字以内	400語以内	5語以内	30編以内
臨床研究 (原著論文)	8,000字以内	800字以内	400語以内	5語以内	20編以内
症例報告	6,000字以内	400字以内	200語以内	5語以内	15編以内

*図表は、1枚につき大は800字、小は400字をめやすに換算する。

4. 原稿は次の順序に従って記載する。

- 1) タイトルページ

表題は和文50字以内、原則として英文タイトルを記載する。表題には原則として略語を使用しない。

- 2) 著者は10名以内とする。著者のローマ字表記は名、姓の順とし、名の第1文字は大文字、第2文字以下は小文字とし、姓はすべて大文字とする。連名の場合はカンマ(,)でつなぐ。(例：Taro YAMADA)

- 3) 5語以内のKey Wordsを付記する。

- 4) 所属機関名および英文名所属機関名（共著者の所属が異なる場合は右肩に上付き番号を記載し区別する）
- 5) 要約
臨床研究、症例報告には和文要約と、原則として英文要約を添付する。
- 6) 本文
 - (1) 本文原稿は標準的な Font (MS 明朝、MS ゴシックなど)を用いた Word で作成し、10.5 pt の文字を使用し、余白は上下左右 25mm とする。
 - (2) 英文・数字は半角とし、カタカナは全角とする。
 - (3) 句点はコンマ (,) とし、読点は (。) とする。
 - (4) 『はじめに』『目的』『対象・方法』（看護の場合『倫理的配慮』『結果・成績』『考察』『結論』『文献』もしくは、『はじめに』『症例・臨床的事項』『考察』『文献』の形式で記載する。
 - (5) 見出しの表記方法
 - a. 大項目の表記は、I. II. III. . . . と ローマ数字（大文字）で記載する。
 - b. 中項目の表記は、1. 2. 3. . . . とし、数字の右はピリオドする。
 - c. 小項目の表記は、(1) (2) (3) . . . とする。
- 7) 文献
引用文献は、論文と直接関連のあるものにとどめ、本文中の該当箇所の右肩に¹⁾²⁾のように記載順に番号をつける。本文の最後に 1), 2), と引用順に記載する。（「引用文献の記載項目と記載例」を参照）
- 8) 図表
 - (1) 図（写真を含む）および表は登場順にそれぞれ番号をつけ、本文中に挿入箇所を明記する。
 - (2) 図はそのまま印刷製版できる明瞭な図とし、表は画像ではなく文字を抽出できる形式（Excel , Word、PowerPoint）で作成する。
 - (3) 図表は原稿とは別にまとめ、表題および簡単な説明をつける。（表題は図・写真の場合は下、表の場合は上につける）
 - (4) 他誌掲載の図表を転載使用する場合は出所を明示する。
 - (5) カラー印刷ではないため図表はモノクロとなる。図表はグレースケールでの作成が望ましい。
- 9) その他
 - (1) 略語
略語は使用しない。本文中に略語を使用する場合は、初出箇所に「フルネーム(略語)」の形式で記載する。例)graft versus host disease (GVHD)
または、文中に頻回に使用される長い術語は、初出箇所に省略せず記載し、(以下○○と略す)と記載する。
 - (2) 商品名など登録商標には、「Registerd（登録された）」の®（R マーク）を右肩に表記する。

- (3) 学会発表したものについては、文末に「本研究は第〇回 〇〇学会(地域)にて発表した」の文言を記載する。

5. 以上の原稿を電子媒体で提出する(メール添付可)。

【引用文献の記載項目と記載例】

雑誌	著者名：表題，雑誌名，巻(号)，引用頁(初め-終り)，発行年(西暦)。 (共著者は3名まで表記し，それ以外は他とする。英文の場合“et al.”とする)
	和文例 日赤太郎 他：感染動態における好中球の役割，感染症誌 65，275-283，1993。 英文例 Gines P, Cardenas A, Arroyo V, et al : Management of cirrhosis and ascites, N Engl J Med 350 : 1646-1654, 2010.
書籍 (単行本)	著者名：書籍名(版)，出版社，引用頁(初め-終り)，発行年(西暦)。
	和文例 日赤太郎：内科疾患と皮膚病変，永井書店，205-213，2010。 英文例 Charles R. S.et al : The metabolic basis of inherited disease, McGrow-Hill, 212-218, 2003.
ガイド ライン	編集：ガイドライン名，版数，出版社，引用頁(初め-終り)，発行年(西暦)。
	パーキンソン病治療ガイドライン作成委員会編：パーキンソン病治療ガイドライン 2011，医学書院，2-4，2011。
Web サイト	著者名(掲載の年月日)，Web ページの題名，Web サイトの名称，アクセス年月日，URL。 または、発行機関名，(調査/発行年次)，表題，アクセス年月日，URL。 例) 文部科学省(2014)，人を対象とする医学系研究に関する倫理指針，2015年4月10日 閲覧， http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf .
電子 雑誌	・DOI がある学術論文 －著者名(出版年)：論文名，誌名，巻(号)，頁，doi: xx,xxxxxx (アクセス年月日) －Author, A. A., & Author, B. B. (Year): Title of article, Title of journal, vol(no), xxx-xxx. doi: xx,xxxxxx (accessed Year-Month-Day)
	・DOI のない学術論文 －著者名(出版年)：論文名，誌名，巻(号)，頁， http://www.xxxxxxx (アクセス年月日) －Author, A. A., & Author, B. B. (Year): Title of article, Title of journal, vol(no), xxx-xxx. Retrieved from http://www.xxxxxxx (accessed Year-Month-Day)
電子 書籍	・DOI がある書籍 －著者名(出版年)：書籍名，doi: xx,xxxxxx (アクセス年月日) －Author, A. A., & Author, B. B. (Year): Title of book, doi: xx,xxxxxx (accessed Year-Month-Day)

	<p>・DOIのない書籍</p> <p>－著者名(出版年):書籍名, http://www.xxxxxxx(アクセス年月日)</p> <p>－Author, A. A., & Author, B. B. (Year):Title of book., Retrieved from http://www.xxxxxxx (ac-cessed Year-Month-Day)</p>
--	---

*DOIとは、「デジタルオブジェクト識別子 (Digital Object Identifier)」の頭文字であり、電子化された学術論文、書籍、論文付随情報、研究データなどに付与される国際的な識別子をいう。コンテンツの所在情報 (URL) 等とともに管理される。

〈年 報〉

1月から12月末日の期間における以下のものを、翌年1月31日まで提出する。

1. 学会発表等：全国学会，地方会，研究会等に区分し，演題名，発表者名，発表学会名（第〇回も必ず，発表年（西暦）. 月，場所
2. 講演：演題名，講演者名，講演会名，講演年（西暦）. 月，場所
3. 掲載論文：発表者名，論文題名，発表雑誌名，巻，頁～頁，発行年（西暦）.
4. 論文以外の雑誌投稿も同様の報告とする。

2016年10月14日作成

2017年3月10日改訂

2017年7月31日改訂

2018年1月10日改訂

2019年3月27日改定

2021年6月1日改定